

第4次大津市文化振興計画策定支援業務公募型プロポーザルへの質問に対する回答

令和8年5月13日

事業者各位

大津市長

標記の公募型プロポーザルに係る質問書の提出がありましたので、下記のとおり回答します。

番号	質問内容	回答
1	第3次計画の評価・課題について、市として重点的に認識されている事項があればご教示ください	第3次計画については、文化施設の活用や市民の文化活動機会の提供等に一定の成果が見られる一方、担い手不足への対応、文化活動の裾野拡大、分野横断的な連携の強化、情報発信の強化等が課題であると認識しています。 詳細については、令和7年度における大津市湖都文化推進審議会の議事録等をご参照ください。 (URL: <a href="https://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/010/1119/g/iinkai/61714.html">https://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/010/1119/g/iinkai/61714.html</a> )
2	『文学のまち大津』の推進について、現時点での具体的施策や課題認識、今後強化したい方向性があればご教示ください	本市では、地域資源を活かした文化振興の柱として「文学のまち大津」の取組を進めており、現在はブランディング戦略事業として、戦略の策定、イベントの企画・実施、協議会の運営、プロモーションの実施等を一体的に推進しています。 現時点では、市民参加型イベントである「湖都の葉マルシェ」の開催をはじめ、文学資源の整理・発信、関係団体との連携体制の構築等に取り組んでいます。 一方で、取組の体系化および中長期的なロードマップの明確化、文学資源の価値を可視化し日常的な体験へとつなげる仕組みづくり、SNSや動画等を活用した国内外への発信力の強化、観光・教育・まちづくり等との連携強化が課題であると認識しています。 詳細については、令和8年3月30日に開催された「文学のまち大津」推進協議会の議事録等をご参照ください。 (URL: <a href="https://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/010/1119/g/iinkai/74740.html">https://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/010/1119/g/iinkai/74740.html</a> )
3	観光・教育・文化財部局等との連携について、現状の取組状況や課題、今後の連携強化の意向についてご教示ください	庁内関係部局とは、個別事業において連携を行っているところですが、分野横断的な取組としては更なる強化の余地があると認識しています。 今後は、観光施策との連動、学校教育との連携等を意識した連携強化を図っていきたいと考えています。
4	国・滋賀県の文化施策との整合について、特に重視される観点や参照すべき計画があればご教示ください	本業務においては、国の文化政策の方向性(文化芸術基本法・文化芸術推進基本計画等)や滋賀県の文化振興施策(滋賀県文化振興基本方針(第4次))との整合を図ることを基本とします。 国・県計画において示されている施策の方向性も踏まえつつ、本市の実情に応じて、場づくり、人づくり、魅力づくりの観点から計画を整理していくことを想定しています。
5	アンケート設計において、受託者からの提案の裁量範囲(設問設計・分析手法等)についてご教示ください	アンケートの実施主体は本市となり、過去の調査結果等を踏まえた一定のたたき台については本市において作成する予定です。その上で、設問設計や分析手法については、専門的見地からの助言や提案を期待しています。 なお、設問数や全体の分量については、過去の調査と大きく乖離しない範囲での設計を想定しています。過去の調査結果等は、第3次文化振興計画をご参照ください。 (URL: <a href="https://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/010/1119/g/keikaku/50833.html">https://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/010/1119/g/keikaku/50833.html</a> )
6	計画書のデザインについて、従来踏襲か刷新を想定されているかご教示ください	基本的には分かりやすさ・視認性の向上を重視しており、従来構成を踏まえつつも、必要に応じた改善・工夫の提案を歓迎します。
7	庁内関係部局へのヒアリング実施は、本業務に含まれる想定でしょうか	庁内関係部局へのヒアリング実施は、本業務には含まれない想定です。
8	「計画課題案・骨子案・評価指標・素案の作成」について、受注者が「初稿(ドラフト)」を作成する前提か、市の叩き台に対する修正・助言中心の前提か、想定をご教示ください。	計画課題案・骨子案・評価指標・素案の作成については、本市において一定のたたき台を作成し、それに対する修正・助言を中心とした支援を想定しています。 なお、より効果的な進め方や手法について提案がある場合には、柔軟にご提案いただき、市と協議の上で進めていきたいと考えています。
9	「文化振興施策の検証」について、受注者が新たに評価・分析用の整理表(事業一覧、KPI達成状況、課題整理表等)を作成する想定でしょうか。市より既存の点検資料・実績一覧等が提供され、それを基に分析・提案する想定でしょうか	本市より既存資料(実績データ等)を提供しますので、それらを基に分析・課題整理を行い、必要に応じて整理手法や資料の提案を行ってください。
10	審議会(3~4回)の開催予定時期(概ねの月)をご教示ください。また骨子案、素案、最終案の提出希望時期(目安)をご教示ください。	審議会は、委託期間中に3~4回の開催を想定しており、詳細は業務進捗に応じて調整します。 ・第1回(計画策定について):6月下旬~7月中旬頃 ・第2回(骨子案について):8月下旬~9月中旬頃 ・第3回(計画案について):11月中旬~12月上旬頃 第4回については、必要に応じて開催する場合があります。なお、最終案についてはパブリックコメントを経て、3月上旬に審議会から答申を行う予定です。
11	各回の審議会で想定される資料の種類・分量と、受注者に求める作成範囲(新規作成/編集取りまとめ/助言程度)をご教示ください。	審議会については、第1回(計画策定について)、第2回(骨子案について)、第3回(計画案について)といったテーマでの開催を予定しており、それぞれの議題に応じた資料作成を想定しています。 資料作成については、本市において一定のたたき台を用意し、受注者において編集・整理や助言等を行っていただくことを基本とします。 なお、契約後には第3次計画策定時の資料等を提供しますので、それらも参考にしながら対応いただくことを想定しています。